

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
総合業界研究 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	塩谷達也 / 尾崎久美子			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
塩谷達也 / 国際基督教大（ICU）教養学部卒。黒人文化（African American Studies）研究のためにニューヨーク市立大留学中、ゴスペルを学び、'97年にソニー・レコードと契約、2枚のマキシ・シングルをリリースした他、メジャー、インディーズ合わせて、4枚のオリジナル・アルバムを発表。西武コミュニティカレッジ「塩谷達也のゴスペルワークショップ」の講師を務めるなど、バンド活動と並行してゴスペルの「紹介者」としても活躍。現在、青山学院大学の礼拝においてワシップディレクターを務めている。											
授業概要											
ボーカリストを目指す大多数の学生がアルバイトをしながらオーディションやライブ活動をしていく中で、一般職ではなく、ボーカル指導やコーラス、仮歌といった音楽に関係する仕事に就けるように、各仕事の主な内容やそれをするには何が必要とされるかを、実際に現場経験のある講師から実践をしながら学ぶ。											
到達目標											
それぞれの仕事内容知り、何が要求されるかを理解する。 ■コーラスの目標：旋律に対し、上下でハーモニーを付けることが出来る/2～3名でハーモニーを作ることが出来る ■仮歌の目標：所見である程度のメロディーを理解し、歌うことが出来る ■ボイストレーナーの目標：各講師による発声法、体の使い方、体の作り方、自身のウィークポイントに気づき、それを克服するための日々の練習法を伝えることが出来る。											
授業方法											
男子クラスと女子クラスに分かれ、それぞれ小グループを組み、その中でローテーションを組んで全員が一度は中心になってコーラスワークを考え、歌っていく。また、仮歌になれるための初見視唱、抽象的なオーダーに対する解釈の仕方を学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では音楽の歴史を探りながら社会との関連性を学び音楽ビジネスがどう移り変わって来たのかを知る。そのため単に音楽史を学ぶのではなく日本さらには世界の現代史を深く学ぶことが焦点である。社会に出るうえで必要な一般教養知識を学ぶための授業である。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：（学ぶポイント）										
第2回	コーラスの内容、留意点										
第3回	ハーモニーを考えそれを実践で歌ってみる 1										
第4回	ハーモニーを考えそれを実践で歌ってみる 2										
第5回	中間の発表会（アンサンブルの授業との連携）										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
総合業界研究 1	
第6回	3度上下、5度上下を実際に考えて実践してみる 1
第7回	3度上下、5度上下を実際に考えて実践してみる 1
第8回	異性が歌う主旋に対し、音域をどう考え、その中でどう作るかを実践から学ぶ 1
第9回	異性が歌う主旋に対し、音域をどう考え、その中でどう作るかを実践から学ぶ 2
第10回	初見視唱、イヤトレ、鍵盤が弾ける学生は初見演奏 1
第11回	初見視唱、イヤトレ、鍵盤が弾ける学生は初見演奏 2
第12回	リズムを正確にとるための準備及び練習法 1
第13回	リズムを正確にとるための準備及び練習法 2
第14回	各グループの最終的添削を行う
第15回	3人ずつがグループになり、夫々発表していく